
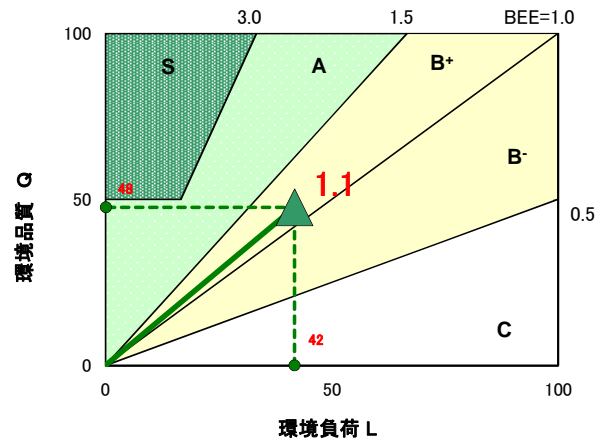



CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	学校法人御船学園 平成音楽大学	階数	地上3F		
建設地	熊本県上益城郡御船町大字滝川16	構造	S造		
用途地域	指定なし, 指定なし	平均居住人員	150 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	1,600 時間/年		
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年3月5日		
敷地面積	30,299 m ²	作成者			
建築面積	1,526 m ²	確認日	2018年3月6日		
延床面積	2,294 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)				
		BEE = 1.1		
		$\text{BEE (環境効率)} = \frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$		
ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)		排出率		
		87%		
環境効率評価基準		ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準		
ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	
			Q値	
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—
			判定値 (排出率)	ランク表示
			30%以下	☆☆☆☆☆
			30%超60%以下	☆☆☆☆
			60%超80%以下	☆☆☆
			80%超100%以下	☆☆
			100%超	☆

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点	
		79	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	83.0	熊本県重点評価基準	
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	71.2	判定値 (評価点)	ランク表示
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0	100点以上	
【重点事項4】 循環型社会の実現	84.0	80点以上100点未満	
		60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人御船学園 平成音楽大学	階数	地上3F
建設地	熊本県上益城郡御船町大字滝川116	構造	S造
用途地域	指定なし, 指定なし	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,600 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年3月5日
敷地面積	30,299 m ²	作成者	
建築面積	1,526 m ²	確認日	2018年3月6日
延床面積	2,294 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 87%
③上記+②以外の 87%
④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価

評価点 = 79

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 (評価点 = 83.0)

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 (評価点 = 71.2)

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 (評価点 = 75.0)

重点事項4: 循環型社会の実現 (評価点 = 84.0)

重点事項の評価(レーダーチャート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

- ・学生が快適に過ごせる学習環境及び生活空間を目指し整備する。
- ・音楽大学らしさを玄関廻りに表現、カーテンウォールをホールに用いて、大空間を構成する。

Q1 室内環境

- ・F☆☆☆☆の建材を使用。
- ・音が周囲に漏れない配慮を行う。
- ・快適に過ごせる空調方式とする。

Q2 サービス性能

- ・空調にゆとりを持たせる。
- ・学生のたまりのスペースを配慮した。
- ・快適なトイレを設置。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・周囲の緑と調和するように計画する。

LR1 エネルギー

- ・採光、通風に考慮したい。

LR2 資源・マテリアル

- ・ノンフロン

LR3 敷地外環境

- ・適切な駐車スペースを確保した。

その他

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄						
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境					0.40	-	-	3.1
1 音環境				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音				3.6	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		T-3		5.0	0.30	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	-	-	
1.3 吸音		(研究室・アンサンブル室・レッスン室)壁:不燃ボード吸音板 床:カーベットタイル		4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				2.8	0.35	-	-	2.8
2.1 室温制御				3.4	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.60	-	-	
2 外皮性能		外皮U:1.107 窓SC:0.9、U:3.3		4.0	0.40	-	-	
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				2.6	0.25	-	-	2.6
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-	
1 昼光率				1.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				4.1	0.25	-	-	4.1
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		・使用する建築材料は全てF☆☆☆☆ ・化学物質の濃度測定実施		5.0	1.00	-	-	
4.2 換気				2.6	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		(2階実技系教員研究室1) 0.036(1/30)⇒レベル4 (3階レッスン室1) 0.076(1/15)⇒レベル5		4.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		館内禁煙		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				2.7	0.40	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				3.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				1.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30	-	-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法に定められた25%増の耐震性		4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		押出成型セメント板		5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水・排水・給湯にB以上を使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高(平均) 4.2m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 0.25	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m = 0.65	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.81	2.9	0.50	-	2.9
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			・節水コマ、自動水栓 ・節水型機器(グリーン購入適合品)	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	3.2
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			再生クラッシュラン	3.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			・躯体と仕上げ材が容易に分別可能(軽鉄下地) ・内装材と設備が錯綜せず容易に取外し可能(軽鉄下地)	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			省エネ設備の導入(LED照明)	3.5	0.33	-	3.5
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	3.5
2.1 大気汚染防止			燃焼機器なし(電気温水器)	5.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			I 1) 駐輪スペースの確保 II 1) 来客用駐車スペースの確保 2) 職員用駐車スペースの確保	4.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち光に漏れる光への対策	・光害対策ガイドライン項目の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

建物名称 学校法人御船学園 平成音楽大学

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		79
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				83	0.40	33.20
Q1-2.1.2	外皮性能	4.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.9	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				71.2	0.20	14.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	4.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				84	0.20	16.80
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.8	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数